

レニングラード攻防戦（1974）

БЛОКАДА

BLOKADJA

BLOKADA: LUZHSKIY RUBEZH, PULKOVSKIY MEREDEIAN

メディア 映画

ジャンル 戦争

製作国 ソ連

色彩 Color

時間 124分

初公開日 1975/06/07

公開情報 東映洋画

【解説】

第二次大戦中、レニングラードを包囲したドイツ軍とソ連軍の戦いを描いた戦争映画。全4部作のうち第1部と第2部を一作としたもので、900日にわたる包囲戦の最初の4か月を描いている（第3部、第4部は「レニングラード攻防戦Ⅱ／攻防900日」）。

1941年6月、ドイツ軍はソ連に侵攻し、ソ連西部の大都市レニングラードを包囲。市民たちは義勇軍を結成するなど軍に協力して、ドイツ軍に必死の抵抗をする。ヒトラーはついにレニングラード攻略を一時諦め、包囲を続けたまま、作戦の主眼を多方面へと転じる。実際にレニングラードにロケし、多くの市民がエキストラとして参加。軍人ばかりでなく、市民の活躍にもスポットをあてているが、冗長な印象は否めない。

【クレジット】

監督	ミハイル・エルショフ	Mikhail Yershov
原作	アレクサンドル・チャコフスキー	Aleksandr Chakovskiy
脚本	アレクサンドル・チャコフスキー	Aleksandr Chakovskiy
	アルノルド・ビートル	Arnold Vitol
撮影	アナトリー・ナザーロフ	Anatoli Nazarov
音楽	ベニアミン・バスネル	Venyamin Basner
出演	ユーリー・サローミン	Yuri Solomin
	イリーナ・アクーロワ	Irina Akulova
	エフゲニー・レベチェフ	Evgeniy Lebedev
	ウラジスラフ・ストルジェリチク	Vladislav Strzhelchik